

2019年は、三・一独立運動と五・四運動100年にあたる記念すべき年です。私たち歴史教育者協議会の日韓交流委員会・日中交流委員会は韓国・中国の教師たちと授業実践交流の活動を長年進めてきましたが、今回共催で下記のようなシンポジウムを開催することにしました。

昨今の東アジアの動きなども見すえながら、私たちの教育実践の方向を考える場にしたいと考えています。

タイムテーブル

〈第1部〉 シンポジウム 13:00~18:00

□基調報告 齋藤一晴(日本福祉大学)

□授業実践報告

・中学生と学んだ三・一運動

小林優香(日本・法政大中高)

・韓国の子どもたちは三・一運動をどう学んだか

朴範羲(パクポミ・韓国・中央高校)

・五・四運動をどう教えているか —南京第一中学での授業から—

蒯泓(カイホウ・中国・南京市第一中学)

・五・四運動で学生たちが求めたものは何か

久木山咲(日本・大妻中野中高)

〈第2部〉 レセプション 18:30~20:30

参加費

シンポジウム 1000円(学生・U25会員は500円)

レセプション 4000円(学生・U25会員は2000円)

主催

一般社団法人 歴史教育者協議会

TEL 03-3947-5701

Email jimukyoku@rekkyo.org



南京市第一中学(左)・

済州島(下)での交流授業



東アジア歴史教育シンポジウム 三・一独立運動、五・四運動100年と日本

2019年11月30日(土) 13:00~

明治大学研究棟4階第1会議室
(神田駿河台キャンパス・JR御茶ノ水駅下車)

